

# Mizuho Daily Market Report

2026/1/21

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.38	158.15	+0.04	▲0.99
EUR	1.1690	1.1725	+0.0079	+0.0083
AUD	0.6743	0.6737	+0.0023	+0.0055
SGD	1.2840	1.2840	▲0.0010	▲0.0047
CNY	6.9604	6.9608	▲0.0033	▲0.0169
MYR	4.0541	4.0553	+0.0006	▲0.0022
THB	31.11	31.08	▲0.18	▲0.40
IDR	16958	16950	+8	+85
PHP	59.47	59.46	+0.01	+0.12
INR	90.99	90.98	+0.06	+0.79
VND	26260	26265	+0	▲16

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.293%	+7.0 bp	+11.3 bp
日本(10年)	2.359%	+9.4 bp	+18.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.859%	+2.0 bp	+1.2 bp
オーストラリア(5年)	4.358%	+3.9 bp	+6.6 bp
シンガポール(5年)	1.790%	▲1.2 bp	▲1.5 bp
中国(5年)	1.598%	▲0.1 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.320%	+3.1 bp	+5.9 bp
タイ(5年)	1.311%	+0.7 bp	+1.0 bp
インドネシア(5年)	5.727%	▲0.3 bp	+12.2 bp
フィリピン(5年)	5.792%	+10.0 bp	+6.2 bp
インド(5年)	6.504%	▲2.8 bp	+5.8 bp
ベトナム(5年)	3.618%	▲2.5 bp	+7.1 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	48,488.59	▲1.8%	▲1.4%
N225(日本)	52,991.10	▲1.1%	▲1.0%
STOXX50(ユーロ圏)	5,892.08	▲0.6%	▲2.3%
ASX(オーストラリア)	5,456.67	▲0.7%	▲0.1%
FTSTI(シンガポール)	4,828.00	▲0.1%	+0.4%
SSEC(中国)	4,113.65	▲0.0%	▲0.6%
SENSEX(インド)	82,180.47	▲1.3%	▲1.7%
JKSE(インドネシア)	9,134.70	+0.0%	+2.1%
KLSE(マレーシア)	1,699.06	▲0.8%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	6,352.86	▲1.3%	▲0.9%
SETI(タイ)	1,296.37	+1.0%	+4.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,893.78	▲0.1%	▲0.5%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	306.35	+1.4%	▲0.1%
金	4,763.43	+2.0%	+3.9%
原油(WTI)	60.34	+1.5%	+1.1%
銅	12,855.34	▲1.4%	▲3.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	-	159.80
EUR/USD	1.1470	-	1.1800
AUD/USD	0.6385	-	0.6780
USD/SGD	1.2770	-	1.3130
USD/CNY	6.9560	-	7.0440
USD/MYR	4.0350	-	4.0930
USD/THB	30.80	-	32.10
USD/IDR	16550	-	17000
USD/PHP	56.10	-	59.90
USD/INR	89.10	-	91.40
USD/VND	26,100	-	26,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

## Contact:

Mizuho Bank Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間ドル円は158円台前半でオープン。仲値を挟んで円買いが入り一時157円台後半をつけたものの、その後は動意なく推移。引け間際では選挙に伴う財政拡張懸念から円売りが進みドル円は158円台半ばまで上昇し、そのまま海外時間へ渡った。アジア通貨はインドネシアルピアドルが史上最高値を更新。プラボウォ大統領が中央銀行理事会メンバーに自身の甥を指名したことを受け、財政赤字の拡大や中銀の独立性をめぐる懸念が広がったことが要因。

欧州時間のドル円は、日本の超長期債利回りが急騰する中、一時158円台後半まで上昇。その後円売りが一服感を見せると、米欧対立激化に伴ったドル売りが強含み、157円台半ばでNYに渡った。米国時間は高市首相が食料品の消費税を2年間0%にする事を公約した事等が材料視され、円売りが優勢となり、158円台前半までじり高で推移。午後は米金利の上昇等が相まって上値を伸ばさず。その後は小幅反落し、結局158円台前半でクローズした。

## 【金利】

長期ゾーンの利回りは上昇。トランプ大統領が表明したグリーンランドをめぐる関税によるインフレ懸念が背景。デンマーク職域年金基金が今月末までに米国債投資から撤退する計画があるとの報道も材料となった。結局米10年債利回りは前営業日比+7.0bpの4.293%で引けた。

## 【予想】

本日のドル円は上値が重く推移する展開を想定。日本の財政拡張懸念に伴い超長期金利が急騰している事や、グリーンランドを巡る報道が材料となるだろう。米欧関係の悪化が一段と進まない限り、過度なドル売りは出にくいとみられる。

## 【本日の予定】

(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、25y超  
(アジア) 12月 NZ 非居住者 国債保有率  
(アジア) 1月 韓国 輸入 20日間 / 輸出 20日間  
(アジア) インドネシア 金融政策会合  
(欧州) 11月 英 住宅価格指数  
(欧州) 12月 仏 小売売上高  
(欧州) 12月 英 CPI / PPI  
(欧州) 12月 英 小売物価指数  
(欧州) 1月 英 CBI楽観指数  
(米国) 10月 建設支出  
(米国) 11月 建設許可件数(速)  
(米国) 12月 住宅着工件数  
(米国) 12月 先行指数 / 中古住宅販売仮契約  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。